## タイトル

名前†

†大学 学部 000-0000 住所 mail@mail.com

あらまし これは忘れた頃にソースコードを見て LaTeX の書き方を思い出すためのメモ書きです.

## 1 基本書式

こんにちは、引用 [1] してみた、 改行もしてみた  $^1$ .

## 1.1 箇条書き

これは普通の箇条書き.

あああこれは説明付き箇条書き.

**仮説 A** あああ

仮説 B いいい

これは番号付き箇条書き.

- 1. あああ
- 2. いいい

#### 1.2 図

図1を挿入してみた.



図 1: 図のサンプル

図を入れるには画像を変換すること.

ebb sample.png

あと,次のように設定するとその場に図表やソースコードを描画できる.

\usepackage{here}

. . .

\begin{figure}[H]

### 1.3 表

表はこんな感じ.

あある	あ	<b>といといとい</b>	ううう
ええ	え	おおお	かかか

#### 1.4 数式

試しに FitzHugh-Nagumo model の式を書いておく. ここで

$$\frac{dv}{dt} = \frac{1}{\varepsilon} (v - \frac{v^3}{3} - w) + I_{ext} \tag{1}$$

$$\frac{dw}{dt} = \varepsilon \left( v - \beta - \gamma \ w \right) \tag{2}$$

ただしv は細胞の膜電位,w は細胞の不活性化の程度を表す抽象的な変数, $I_{ext}$  は細胞外から届く電流を表す.

<sup>&</sup>lt;sup>1</sup>なお注釈はこのように書ける

## 1.5 アルゴリズム

アルゴリズム1は次のように記述する.

## Algorithm 1 アルゴリズム

```
Input: 入力
Output: 出力
文
while true do
文
end while
if 条件 then
文
end if
```

### 1.6 ソースコード

ソースコードは次のように記述する.

```
yースコード 1: hello.c

// コメント
#include <stdio.h>

int main(int argc, char *argv[])

fereturn 0;
}
```

# 参考文献

[1] sample https://localhost/